

歴史都市防災研究センターは、文化遺産を多く有する歴史都市において、文化遺産を災害から守り後世に残すための学理と技術の研究を進めている施設です。

これまで自然災害の研究は、文化遺産の保護と関連づけて捉えられることはありませんでした。従って今日に至るまで、文化遺産や歴史都市の防災に関する学術研究の体系は確立されていませんでした。そこで災害科学・土木工学・建築学・情報学などの工学・自然科学の分野と、歴史学・地理学・政策科学などの人文・社会科学などの分野が連携して、新しい体系を構築する必要があります。当センターは、文理融合のもとに、文化遺産の宝庫というべき京都を中心に、かかる教育・研究の拠点形成を目指しています。また、文化遺産・歴史都市の防災にかかわる産・官・学の関係者が、総合的な視点から共同して研究する場を提供することも目的の一つとしています。この分野に関心のある多くの方々が集まって頂き、文化遺産を災害から守るための英知を形成する場になることを願っています。

### 主な研究テーマ

- 文化遺産の災害史
  - ・ 京都における火災による文化財の焼失
  - ・ 京都盆地の地震履歴の調査
  - ・ 歴史的建造物の復元と建造物の立地
  - ・ 文化遺産の価値及び災害と復旧の歴史
- 文化遺産の災害危険度
  - ・ 歴史的建造物の耐震性の向上
  - ・ 美術工芸品の免震
  - ・ 市街地の延焼対策
  - ・ 歴史遺産集積地の都市構造と防災性能
- 文化遺産の保全
  - ・ 内陸活断層による京都盆地の震動予測
  - ・ 歴史遺産と市街地の一体的整備方策の提示
  - ・ 災害時における文化遺産保全のための交通管理
  - ・ 歴史的空間の景観の保全と防災対策
  - ・ 文化遺産の防災・復旧・整備の対策と制度
  - ・ 文化遺産の災害と保護制度の国際比較

### 外部資金の受入

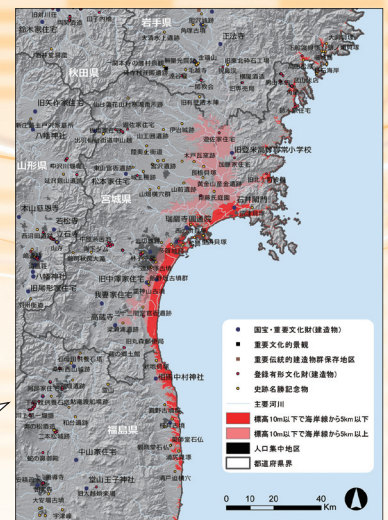
- 文部科学省 グローバルCOEプログラム
- 日本学術振興会
  - \* 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)
  - \* 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム (大航海プログラム)

ほか

東北地方太平洋沖地震一被災地周辺の文化遺産について—  
○文化財分布と関連地理情報の重ね合わせ地図

※地図情報等は、下記URLをご確認ください。

[http://www.rits-dmuch.jp/jp/project/c\\_heritage.html](http://www.rits-dmuch.jp/jp/project/c_heritage.html)



(c)立命館大学歴史都市防災研究センター・文字部地理学教員

センター長	土岐 憲三 (立命館グローバル・イノベーション研究機構 教授)
主な研究拠点	立命館大学 (衣笠キャンパス) 歴史都市防災研究センター
お問合せ先	立命館大学 研究部 リサーチオフィス (衣笠) TEL: 075-465-8206 FAX: 075-465-8342 Email: rekibou@st.ritsumeikan.ac.jp URL: <a href="http://www.rits-dmuch.jp/">http://www.rits-dmuch.jp/</a>